

令和7年度 第1回沖縄県がん診療連携協議会 医療部会議事要旨

日 時：令和7年12月2日(火)17:00～18:00

場 所：Zoomを利用したWeb会議

参加者：6名

安次嶺宏哉(沖縄協同病院)、金城達也(琉球大学病院)、新里雅人(県立宮古病院)
照屋淳(北部地区医師会病院)、古波津万里子(沖縄県保健医療介護部健康長寿課)
増田昌人(琉大病院がんセンター)

欠席者：3名

伊江将史(県立中部病院)、宮里浩(那覇市立病院)、山本孝夫(県立八重山病院)

陪席者：1名

豊福真理子(琉大病院がんセンター)

【報告事項】

1. 令和6年度 第6回医療部会議事要旨について

増田委員より、資料1に基づき前回議事要旨について説明があった。

2. 2040年を見据えたがん医療提供体制の均てん化・集約化に関する

とりまとめ(がん診療体制のあり方に関する検討会)

増田委員より、資料2に基づき2040年を見据えたがん医療提供体制の均てん化・集約化の説明があり、報告があった。

3. 2040年を見据えたがん医療提供体制の均てん化・集約化に係る基本的な考え方及び検討の進め方について

(厚生労働省健康・生活衛生局がん・疾病対策課長通知)

増田委員より、資料3に基づき2040年を見据えたがん医療提供体制の均てん化・集約化に係る基本的な考え方及び検討の進め方について、厚生労働省から、患者会、有識者含め、連携協議会で議論を進めることになったと説明があった。

4. 【都道府県がん診療連携拠点病院あて】2040年を見据えたがん医療提供体制の均てん化・集約化に係る基本的な考え方及び検討の進め方に関する技術的支援について

(沖縄県保健医療介護部長通知)

増田委員より、資料4に基づき2040年を見据えたがん医療提供体制の均てん化・集約化に係る基本的な考え方及び検討の進め方に関する技術的支援について、厚生労働省から六つの各拠点病院宛てに医療提供体制の均てん化・集約化に関する検討を進めるよう依頼があったことの報告があった。

5. 【沖縄県がん診療連携協議会あて】2040年を見据えたがん医療提供体制の均てん化・集約化に係る基本的な考え方及び検討の進め方に関する技術的支援について

(沖縄県保健医療介護部長通知)

増田委員より、資料5に基づき沖縄県保健医療部長宛てに2040年を見据えたがん医療提供体制の均てん化・集約化に係る基本的な考え方及び検討の進め方に関する技術的支援について、沖縄県がん診療協議会宛てに医療提供体制の均てん化・集約化に関

する検討を進めるよう依頼があったことを報告した。

6. 沖縄県における医療機関の集約化と分散化について

(1) これまでの決定事項

第3回の連携協議会により、資料6に基づき沖縄県における医療機関の集約化と分散化について、原案通り承認された。

(2) がん種ごとの選定条件

①脳腫瘍（脳・中枢神経系）、②頭頸部（口腔/咽頭/喉頭/鼻腔・副鼻腔/唾液腺）
③甲状腺、④食道、⑤胃、⑥大腸、⑦肝臓、⑧胆道（胆のう・胆管）、⑨膵臓、⑩肺
⑪骨・軟部腫瘍、⑫難治性皮膚がん、⑬乳房、⑭婦人科がん（子宮頸部、子宮体部、
卵巣）、⑮泌尿器がん（前立腺、腎、膀胱）、⑯血液腫瘍、⑰小児がん、⑱AYA世代
のがん、⑲希少がん、⑳遺伝性腫瘍

増田委員より、資料7に基づきがん種ごとの選定条件について報告があった。

沖縄県から年度内に発表となる可能性があるとの説明があった。

7. その他

なし

【協議事項】

1. 北部・宮古・八重山医療圏における血液内科外来・腫瘍内科外来・放射線治療外来の達成状況について

県立北部病院、北部地区医師会病院については未達成だが、腫瘍内科について琉大病院の知念先生が、早ければ年明け、遅くとも来年4月1日から月1で担当可能との説明があった。

新里委員より、八重山と宮古の資料の記載が反対になっているとの指摘があり、資料の修正を行った。また、放射線治療医の人数を増やしてほしいことやオンライン診療のご要望があった。

2. 第4次沖縄県がん対策推進計画（連携協議会版）の中間評価について

増田委員より資料9に基づき、第4次沖縄県がん対策推進計画（連携協議会版）について説明があり、継続的に協議することとなった。

3. 次回開催日程について

4月開催の幹事会に向けて第4次沖縄県がん対策推進計画（連携協議会版）の中間評価について沖縄県に報告するため、増田委員より、少人数に分かれて、月に1回で議論するため連絡することとなった。

4. 4. その他

増田委員より、5年生存率について、来年1月に協議したいと要望があった。

以上